

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2792300119		
法人名	株式会社ケア21		
事業所名	たのしい家帝塚山(2階)【外部評価は3ユニット総合評価である】		
所在地	大阪府大阪市阿倍野区帝塚山1丁目10番27号		
自己評価作成日	令和4年4月25日	評価結果市町村受理日	令和4年7月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JiqyosyoCd=2792300119-00&ServiceCd=320
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人ぱ・まる
所在地	堺市堺区三宝町二丁目131番地2
訪問調査日	令和4年5月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「たのしい家」で「たのしく暮らす」を目指しています。地域のボランティアの方にきていただいたり、地域の行事に参加したり、施設内での行事に地域の方を招いたりして日々の暮らしの中で変化や楽しみが持てるようにご利用者や職員創意工夫しています。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域とのふれあいを大切にし、地域行事への参加や、毎月積極的にボランティアの活用を行い、地域との関係構築に努められていましたが、コロナ禍の制限下において様々な制約の中、代替となりうる手段として、各ユニット毎の行事やレクリエーションの拡充に努められています。利用者に楽しく過ごして頂くために、支援を提供する職員自身も楽しく仕事ができる環境作りに配慮されています。面会制限等も発生する中、家族等への情報提供が細ることがないように取り組まれています。感染症状況を見極めながら、可能なものから地域交流やボランティアの活用・協力を推進できるよう考えられています。利用者へ乗り合い促進と支援の質の向上のため、認知症についての知識を確認し、職員間で意識の底上げと持続を図るための取組を図られています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	【外部評価は3ユニット総合評価である】			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設全員で施設ビジョンを作り、そのビジョンを共有するために玄関や職員の目につく場所に掲示し、常に意識しながらケアに努めている。	法人のコンプライアンスマニュアルや行動指針は、毎月の会議の中で確認共有されています。法人理念に基づく施設独自の行動指針が職員間の話し合いで毎年設定されており、掲示されていると共に、定期的な会議においても内容の確認が行われています。月次の目標も設定されており、会議の中で振り返りが行われています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の散歩、買い物などで地域の店を使っている。運営推進会議や回覧板、地域の情報を得て参加できる事や行事には参加している。(コロナ禍で自粛している部分あり)	地域行事への参加や施設行事への地域の方々の参加、地域のボランティアの活用等が積極的に行われていたが、コロナ禍の制限下において実施が困難となっており、感染状況を踏まえて可能なことから取組の再開や、代替手段による交流を検討されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近くの小学校の子供たちが訪問して利用者様と交流できる時間を作るようにしてその場で認知症についての理解をしていただいている。コロナ禍ではZnmでの交流を実地するしたり、手紙のやりとりなどコロナ禍でも出来る事工夫している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回開催、包括、町会長、ご家族様7組程度ご参加いただき、日常生活や行事や身体拘束適正化委員会等を行っている。コロナ禍では施設内会議を行い資料の配布のみを行っている	コロナ禍の制限下において、市の通知もあり、書面による施設内会議の内容を、運営推進会議出席予定者に送付し、情報共有を図られています。運営推進会議資料は、家族等にも毎回送付されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の資料、議事録を提出してご意見頂いている。	コロナ禍の制限下において、密な連携は制限されていますが、必用に応じた連携に努められています。事業所の現況報告等は、資料等の送付により代替されています。生活支援が必要な利用者のついて、行政との定期的な情報共有や必要な相談等がなされています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の自由を束縛しないようにするためのはどうしたらいいか職員同士で考え話しあっている。法人内でのGH会議などで身体拘束をしている事例を適時検討検証している。	委員会の開催は施設内で2ヶ月に1回、法人内で年2回行われており、委員会の内容は職員間で共有されています。センサーを含め、拘束にかかる取組は原則として行わない方針であり、現在も対象となる利用者はいません。委員会の情報共有時には、拘束に繋がる事例共有や検討がなされています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の研修教育計画に沿って年2回の研修を実施している。アンガーマネジメントに努め、職員間で、声を掛け合い、不適切なケアの芽を早期に摘みとれる関係を作っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内の研修教育計画に沿って受講している。後見人制度を利用されているご利用者もおられる為、その必要性について職員間で話し合う機会を持っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者やご家族様に入居前に重要事項などを十分説明して契約していただいている。改定時には同意書に署名捺印して頂き、説明を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人内で年1回顧客満足度調査を実施している。運営推進会議で意見をいただいて面会時に直接ご家族様からご意見をいただき反映出来る事は繁栄している。	法人から家族への直接アンケートが実施されており、施設を通さずに、家族の意見や意向等が把握できる仕組みがあります。コロナ禍の制限下において、面談等の機会確保が困難であるため、電話での報告時に、意見や意向等を聴取出来るように心がけられています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回カンファレンス、施設全体会議を実施し職員の意見を吸い上げている。法人でも従業員満足度アンケートを年1回実施している。アンケート結果が悪い施設は再アンケートを行っています。	全職員に対して行われる従業員満足度アンケートは、管理者が関与することなく直接法人が受付対応するので、管理者への遠慮等がなく、実直な意見をくみ上げ、法人としてそれらに対応できる仕組みになっています。従業員満足度アンケートの結果は、施設にフィードバックされ、必用に応じて法人と共に改善に繋がられています。年2回程度管理者との面談があり、意見や提案の聴取機会が確保されています。定例以外でも必用に応じた職員面談を積極的に実施されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリア段位制度(介護技術、スキルの評価)誰のび人事制度、自己申告制度(異動希望など)前向きな思考をもつコーチング研修、褒め合う社風を作るためのありがとう褒めカードがある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人が内部の研修を受ける機会を確保している。キャリア段位制度がある。職員が自発的に受けたい研修についても協力を得て受ける機会が持っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新規開設施設の職員が当施設へ研修にきたり法人内で管理者の会議や研修、勉強会を実施している。介護職員に対してはユニットリーダー研修がある。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に管理者、計画作成担当者、ユニットリーダーがアセスメントを行い、本人や家族様が困っていることや思い等を親身にききとり施設で行える対応や難しい点については理解を得られるように説明し信頼関係構築につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に管理者、計画作成担当者がアセスメントを行い、本人や家族様が困っていることや思い等をききとり施設でのできることやできないことも踏まえて信頼関係構築につなげている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人内の居宅や訪問介護、認知症デイなどと連携をとり支援している。包括やオレンジチームと連携をとることもある。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理や掃除、洗濯などご利用者の活躍できる部分を見極め、できることはできるだけしていただくようにしている。ご本人のできること(役割)を増やすように話しあっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事に参加していただいたり、面会時に外出散歩をお願いしている。日々の状況などを毎月の連絡表を通して伝えたり、電話で近況をお知らせし時にはご家族の意見や助言をもとにケアに活かしている。本人を中心に身近な関係を築けている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔行っていた場所や在宅でうけられていた訪問リハビリや訪問診療を継続している。ご家族様より情報をいただいたり、ご本人より聞き出す努力をしています。	コロナ禍の制限下において外出面会等の機会制限が大きい中でも、家族等の協力を得られる範囲の、馴染みの場所や交流のあった方々との接触ができるよう配慮されています。家族や旧知の方々との電話やFAXによる交流が維持拡大できるよう心がけられています。制限下においてもWEB面会等、出来る事に取り組まれています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者同士のパイプ役を担い、共通の趣味や生活話題を通してまずは馴染みの関係を築き一緒に家事や行事、レクリエーション活動を行うことで良好な関係を維持出来るように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時にご家族から今後の行事ボランティア申し出があり継続している(コロナ禍で中断)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1人1人の想いや暮らしに寄り添ったケアをしている。コミュニケーション困難な方でも、ご家族様から生活歴や今までの暮らし方、本人の性格など情報をいただき、日々接する中で本人の意向をくみ取り、記録に残し職員間で共有し検討している	利用者との信頼関係、家族的な繋がりを心がけ、利用者からわがままと言えるような関係性構築に努められています。信頼関係から得られた言葉や行動によって、利用者の希望や意向把握に努められています。利用者個々の、その人らしさを大切にしたい、思いや意向の把握を意識されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族様から情報をいただき、これまでの生活歴、馴染みの生活を継続していただけるように努力し支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日健康チェックを行い体調にあわせた生活を過ごしていただきたいと思います。医療と連携し些細な異変も、把握できるように努めて早期に対応しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月各ユニットでカンファレンスを行いよりよくするための職員間で話しあっている。ご家族様にも参加いただいたり面会時に情報をいただいたりして計画書に反映させている。日々の暮らしの変化についても記録に残し計画に活かしている	アセスメントでは、利用者の出来ること出来ないことを明確にし、また改善すべき課題等を、各項目毎にケアチェック表として作成されています。計画作成担当者が中心となって、担当介護職員や管理者、介護支援専門員も交えた話し合いを行い、アセスメントと評価を踏まえた、次期計画の策定に繋がられています。	利用者個々のニーズと現状を踏まえ、自立の為に必要な具体的な計画策定拡充が望まれます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別介護記録をつけており職員間ユニット間で情報共有している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ るニーズに対応して、既存のサー ビスに捉われない、柔軟な支援やサ ービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様に相談して自宅に帰ったり近鉄百貨店に行ったり月命日に仏花を買いに行ったりしている。(コロナ禍で中断)面会できないことについてはテレビ電話を活用するなど柔軟に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のスーパーに買い物に行ったり近隣の花屋に仏花を買いに行ったりしている。(コロナ禍中断、近隣散歩、買物は3/25以降解禁しています)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクターと施設ナースが連携をとり健康管理に努めている。馴染みのかかりつけ医を継続することもできています。	施設の提携医療機関からは利用者一人あたり月2回(利用者診察頻度を2クールに分け隔週体制のため訪問自体は毎週)の訪問診療があり、電話対応含め24時間365日の緊急対応可能な体制が構築されています。非常勤の看護師の配置があり、適切な医療管理が行えるよう努められています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師と連携しながら日々の健康管理に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急時に対応していただける病院を確保している。入院時は必ず、担当ケアマネの名前を伝えていただき、早期に情報交換出来るように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人やご家族様の意向を伺い、重度化や終末期になった時、なりそうなときは話し合いを持つようにしている。ご家族が気持ちを話しやすい関係を築き、穏やかな終末期を過ごせるように細やかな配慮に努めています。	施設の方針・指針が契約時に示され、同意の上で入居されています。看取りに向けては、利用者の状況に応じて提携医療機関の医師と家族を交えた話し合いが行われ、方針が決定され、意向に沿った看取りの実施が行われています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に対応や事故発生時の対応の研修を実施している。マニュアルが目につくところに置かれている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	半年に1回消防訓練行っている。普段から職員同士で災害時や緊急時の行動について話し合っている。	3日分の飲料水・非常食・消耗品の備蓄が用意されています。夜間想定防災訓練が実施されています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けは一人一人丁寧に行い、誇りやプライバシーにかかわることは尊厳を大切に対応しています。	法人内の接遇研修を通じ、言葉の大切さ、受け答えの大切さを学び、嘘を使わずに適切な言葉かけや同意を得られる問いかけが行われています。職員相互間で不適切な声かけがないよう留意し、相互に指摘し修正を意識する取組が行われています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の関わりの中で一人一人の思いを組み止めるようにコミュニケーションを図り、ご本人が主体的に行動出来るように援助を心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人それぞれのペースにあわせたり希望や思いに沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日着る服、入浴後に着る服など本人の希望を聞いたり、選んでもらったりしている。化粧をしている方もおられる。ファッション雑誌やカタログなどを活用することで楽しまれている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は一緒にしたり(皮むき、盛り付け、米とぎ、洗い物、食器やお盆ふき、味見など)リクエストをきいて献立を決めている日を月2回もうけている。	利用者の意向、嗜好を踏まえた上で、利用者個々の活動能力に応じた協働に努められています。利用者のリクエストによる献立提供日を設けたり、目の前でおやつ等を作成し提供するなど、利用者が共に楽しめる食事・おやつ提供に配慮されています。外食に制限が生じたため、デリバリーやテイクアウトの活用で代替することによって、楽しめる変化の提供が行われています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人にあった食事量、食事形態で栄養バランス確保できるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの支援しています。定期的に訪問歯科、口腔ケアをしていただいている。訪問歯科の指導を受け、口腔ケアの質の向上に繋がっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人の排泄サインや行動をさりげなく、観察し、日中はできるだけトイレでの排泄ができるように支援していきます。	自立した排泄が維持できるよう、声かけや同行等、利用者個々の特性に応じた支援の提供に努められています。介助により自立排泄に繋がられる利用者には、おむつやパットの利用を極力控え、自立が継続できるように配慮されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量のチェックをしたり、ヤクルト等の乳製品の提供したり毎日の口腔体操、ラジオ体操、笑いヨガなど体を動かす時間を作り便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週に2~3回入浴しています。一番風呂の好きな方、身体状況にあわせて夕方が適している方など本人の好みや状態に合わせて入浴介助しています。	利用者個々の希望に沿うように入浴時間の調整が行われています。利用者の様子にあわせた声かけや動機付けによって、無理強いのない入浴機会の確保に努められています。利用者の意向や希望に沿って、予定浴以外の入浴機会の確保に努められています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	楽しく運動したり、散歩の時間を作り、日中の活動を増やすことで気持ちの良い疲労感に繋げ、安眠できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用法や用量についての理解を深め、職員間で周知し、処方された薬をもれなく服用努めています。また、副作用についても注意しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割として調理や洗濯物や掃除、装飾品の作成などしていただいています。楽しみや気分転換のため季節ごとの行事やレクリエーションを実施しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節の移ろいを肌で感じていただけるように、毎日、少人数で散歩にでています。ご家族様の面会時に散歩等行って頂き戸外へでる機会確保しています。	コロナ禍の制限下において、感染症対策に留意しながら、近隣への散歩や施設敷地内での外気浴が行われています。車両移動により、外出先では車内からの見学で雰囲気を感じてもらう等の取組により、気分転換や季節感を感じて頂く機会確保に努められています。家族支援による外出ドライブ等も可能な範囲で取り組まれています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身で現金を持っていないと落ち着かない方は持っています。ご利用者の「おこずかい」としてお預かりしている現金があり、ご本人に必要なもの、希望があるときに使います。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、手紙のやりとり等の支援をしています。年賀状や暑中見舞い等をご家族様にだしていただいています。テレビ電話も活用しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	衛生的でご利用者様が不快な気持ちにならないように環境整備に努めています。	月々の行事予定に季節感を持たせ、利用者と共に作成し、掲示することで、季節の移り変わりや季節感の保持に努められています。散歩中に見つけた花等を共用空間に持ち帰り飾るなどの取組も行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内を自由に過ごしていただけるスペースです。居室では、馴染みの物に囲まれて落ち着いた空間で1人で過ごしていただいています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には慣れ親しんだダンスや好みのものを持ちこんでいます。入居後、レクや行事で作成したものや写真等を飾っています。	利用者が私物を持ち込み配置等工夫することで、利用者個々が使いやすいように配慮されています。布団干しや清掃にも配慮し、気持ちよく過ごせる居室作りに努められています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや自分の部屋の張り紙や目印をつけています。		